

令和元年7月の赤潮発生状況

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況及び発達状況	最大面積	発生水深	最高細胞数	漁業被害の有無
12	7.1	神戸市から堺市にかけての沿岸域	小型中心目珪藻類	7月1日、左記の海域で小型中心目珪藻類の赤潮が確認された。この赤潮は7月8日には確認されなかった。	145km ²		1.14×10 ⁴ cells/ml	なし
13	7.16~7.23	神戸市から西宮市にかけての沿岸域から沖合域	<i>Thalassiosira</i> spp.	7月16日、左記の海域で <i>Thalassiosira</i> spp.の赤潮が確認された。この赤潮は7月23日の調査では、西宮市から泉大津市にかけての沿岸域および西宮市の沖合域に存在していた。なお、この赤潮は7月29日には確認されなかった。	160km ²		3.61×10 ⁴ cells/ml	なし
14	7.16	泉大津市の沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp.	7月16日、左記の海域で <i>Skeletonema</i> spp.の赤潮が確認された。この赤潮は7月23日には確認されなかった。	20km ²		2.54×10 ⁴ cells/ml	なし

15	7.29~	堺市の沿岸域	小型中心目珪藻類	7月29日、左記の海域で小型中心目珪藻類の赤潮が確認された。	30km ²		1.69×10 ⁴ cells/ml	なし
16	7.29~	泉大津市から貝塚市にかけての沿岸域	<i>Karenia mikimotoi</i>	7月29日、左記の海域で <i>Karenia mikimotoi</i> の赤潮が確認された。	60km ²		9.51×10 ³ cells/ml	あり

※6月24日に西宮市および泉大津市の沿岸域で確認された赤潮（No.11）は7月1日の調査では消滅していた。